

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第72回 「子どもと防災訓練」

こころの相談員 小林 節子

3月11日の東日本大震災後では、私たちの防災意識も大きく変化せざるを得なくなりました。災害地域が広範囲に及んだ場合、ライフラインの復旧も長期間かかることもわかりました。乳幼児のいるご家庭では、水はもちろん、ミルク、紙おむつなどの備蓄は絶対必要ですね。また、食物アレルギーのあるお子さんは、避難所で出される食品が食べられないことも想定して、お子さんにあった食物も必ず備蓄を。

小学生以上のお子さんには、リュックサックを一人ひとつずつの非常持ち出し袋として準備しておくといいでしょう。緊急用として500ミリの水、かんぱんなどの食料、そして、お子さんの好きな、あまりかさばらない絵本一冊、小さい画用紙とクレヨンなど、お子さんのこころのケアに役立つものも入れておくといいでしょう。

お子さんが家族と一緒にの時間帯に、大津波が来た場合の、避難所への避難経路を確認し、車や徒歩でどのくらいかかるかを計っておくことも大切です。園や小学校でも、合同の避難訓練が行われました。今一度、各家庭で、地域で防災の意識を高め、訓練をして、災害のときに一人でも犠牲者を減らすことができるよう、願ってやみません。

※小林相談員は、あさひ園・カンガルーあさひなどで相談活動を行っています。

11月活動報告



☆子ども虐待防止メッセージ伝達式☆

<役場 玄関前にて>



地域みなさまに向けた虐待防止のメッセージが町長よりありました。



マスコットキャラクター
『みつぷる』

11月は子ども虐待防止啓発月間です。

11月10日 一人でも多くの子どもを虐待から守ることができるよう、キャラバン隊による啓発活動が行われました。